



竹林

白河市立五箇中学校だより No.19

発行 令和2年8月21日
発行責任者 校長 菅野 靖



教育目標

自ら学ぶ意欲をもち、創造性に富み、社会の変化に対応できる知性豊かな生徒の育成

目指す生徒像

主体的に学び、確かな学力を身につける生徒〔知〕
広い視野をもち、思いやりのある生徒〔徳〕
心身ともに健康で、生き生きと生活できる生徒〔体〕

88日間の2学期がスタート

始業式で生徒の皆さんに話をした内容を掲載します。

18日間の夏休みが終了し、今日から2学期が始まります。大きな事故もなく、皆さんが元気に登校し、2学期の始業式を迎えられたことをうれしく思います。

夏休みの前に、皆さんに、1日1日を有効に使い、自分で決めたことを確実に実行する夏休みにしてほしいとお話ししました。自分で立てた計画を強い気持ちを持って実行することができましたか。

夏休み中の生徒の皆さんの学校での取り組みについて、少しお話ししたいと思います。

8月3日に白河市立図書館にて「白河市いじめについて考える中学生フォーラム」が行われ、生徒会役員の3名の生徒が参加してきました。五箇中学校の「いじめ防止標語」や「思いやりタイム」などのいじめを防止する取り組みについて発表し、他の中学校の生徒といじめをなくすための取り組みについてグループ討議をしてきました。

夏休みに入り、特設駅伝部の朝の練習が毎日行われていました。顧問の先生方の叱咤激励と、部員同士の励まし合いの掛けが、とてもたくましく感じられました。また、8月6日には、駅伝の試走も行われ、熱い中、五箇中学校の代表として一生懸命に取り組んでいました。

東西しらかわ中学校英語弁論大会に参加する3年生の柴原美玲さんと2年生の斎藤海咲さん、そして、遠藤紅葉さんは、穂積先生とミーガン先生の指導の下、自分の思いを英語で伝えられるよう意欲的に練習を行っていました。

1、2年生は、3年生が引退した新しい部の体制で、2年生を中心に、個人としての目標とチームとしての目標を達成させるために、一生懸命に汗を流していました。

3年生は、三者面談で自分の進路について目標を新たに設定し、夏休み中も生活リズムを崩さず、時間を有効に活用するために、図書室で自主学習を熱心に行っていました。

このように、短い夏休みの間も多くの生徒の皆さんが、自分の目標の達成や能力の向上を目指し一生懸命に取り組んでいました。

さて、2学期は、学習も運動も文化面でもいろいろな活躍の場面があります。東西しらかわ中学校英語弁論大会、校内駅伝大会、修学旅行、東西しらかわ中体連新人総合大会、そして、校内文化祭の「結城祭」があります。一人一人が責任を果たし、1年生から3年生までの力を結集し、実り多い素晴らしい行事にしてほしいと思います。

学習面では、これから次第に涼しくなり、学習に適した季節となっていくと思います。毎日の授業を大切に、自ら学ぶ意欲と学んだことを表現することを大切にして、学力を積み上げていってほしいと思います。特に3年生にとっては大切な時期です。自分で決めた目標や計画を強い気持ちで実行してほしいと思います。

そのような重要な2学期をよいものにしていくためには、健康が大切です。1学期と同様に、交通事故やトラブルに巻き込まれないように十分に注意し、安全な生活を送ってください。また、新型コロナウイルスに感染しないように「新しい生活様式」に従い行動し、状況に合わせた最善の取り組みができるよう心がけて欲しいと思います。

2学期も、皆さんの持っている力を十分に発揮して、五箇中学校をさらに盛り上げてくれることを期待しています。



